

インバウンドの「変化の兆し」をいち早く **都道府県別訪日外客数と訪問率**

月次指標の早期推計:4月レポート

野村亮輔(副主任研究員) 稲田義久(APIR 研究統括兼数量経済分析センター長) 松林洋一(APIR 上席研究員) 内容に関するお問い合わせは下記まで e-mail: nomura-r@apir.or.jp

ポイント

●5月発表データのレビュー: JNTO 訪日外客数

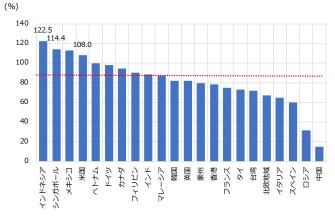
- ▶JNTO 訪日外客統計によれば(図 1 及び表 3)、4 月の訪日外客総数(推計値)は 194 万 9,100 人と、200 万人に迫る水準まで回復した(前月:181 万 7,500 人)。2019 年同月比では-33.4%と前月(同-34.2%)からマイナス幅は小幅縮小しており、回復傾向が続いている。なお、中国を除いた総数では、184 万 800 人、同-16.3%となっている。一方、出国日本人数は 56 万 200 人と前月(69 万 4,293)人から減少しており(同-66.4%)、アウトバウンド需要の回復ペースは緩慢である。
- ▶訪日外客数のトップ 5 を国・地域別にみると、韓国が 46 万 7,000 人(2019年同月比-17.6%)と最多であった。次いで台湾が 29 万 1,600 人(同-27.7%)、米国が 18 万 3,900 人(同+8.0%)、香港が 15 万 2,800 人(同-21.6%)、タイが 12 万 1,000 人(同-26.6%)と続く。米国に加え、インドネシア(4 万 8,700 人、同+22.5%)、シンガポール(4 万 2,000 人、同+14.4%)などがコロナ禍前の水準を上回った(図 2 及び表 3)。
- ▶目的別訪日外客総数(暫定値)をみれば、2 月は 147 万 5,455 人となった(2019年同月比-43.3%)(図 3 及び表 4)。うち、観 光客は 129 万 7,458 人と 3 か月連続で 100 万人を超える水 準となった(同-44.6%)。また、商用客は 6 万 7,629 人(同-48.2%)、その他客は 11 万 368 人(同-16.6%)であった。
- ▶観光客の TOP5 を国・地域別にみれば、2 月は韓国が **54 万 8,770** 人(2019 年同月比-18.7%)と最多で、2 カ月連続で **50** 万人超の水準となった。次いで台湾が24万815人(同-37.3%)、香港が 11 万 7,024 人(同-33.3%)、米国が 7 万 5,610 人(同+4.4%)、タイが 6 万 9,896 人(同-32.2%)と続く(表 4)。 19 年比でみれば、米国がコロナ禍前の水準を初めて上回った。
- ▶先行きについては訪日中国人客の動向が重要となろう。日本の海外に対する水際対策は4月28日をもって終了したが、中国政府は依然として日本への団体旅行を認めていない。訪日中国人客を目的別にみれば(表4)、2月の商用客は2019年同月比-65.6%、その他客が同-69.1%となっている。一方、観光客は同-98.1%となっており、依然戻りは遅い。訪日中国人観光客の回復には依然不確実性が高く、今後の動向には引き続き注視が必要である。

図1 訪日外客数及び出国日本人数の推移



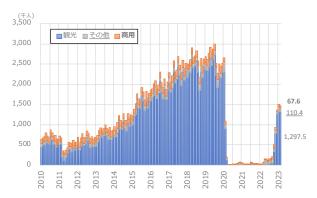
出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成 注) 2021 年まで確定値、22 年、23 年 1-2 月は暫定値、23 年 3-4 月は推計値

図2 国・地域別コロナ禍前からの回復比較:23年4月



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成。

図 3 目的別訪日外客数推移



出所:日本政府観光局(JNTO)「訪日外客数」より筆者作成注)目的別訪日外客数については訪日外客数(推計値)から2カ月遅れて発表される。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

*本レポートで使用している観光庁「訪日外国人消費動向調査」の一部 データが公表されていないため、2020年11月公表分レポートより内 容を変更していることにご留意頂きたい。

トピックス 1

●4月関西の財貨・サービス貿易及び3月のサービス産業動向

- ▶関西 4 月の輸出は前年同月比+0.8%と3カ月連続の増加だが、2カ月連続で伸びは減速した(1月:同+5.1%、2月:同+1.3%)(図4)。 一方、輸入額はエネルギー価格の落ち着きもあり同-3.4%と27カ月ぶりに減少に転じた。結果、関西の貿易収支は+2,482億円と3カ月連続の黒字となり、黒字幅は同+37.5%拡大した(前月:同-2.8%)。
- ▶対中貿易動向をみると(図 5)、関西 4 月の対中輸出は前年同月比 +2.8%と 2 カ月連続の増加だが、小幅のプラスにとどまった(前月:同+0.4%)。輸出増に寄与したのは半導体等電子部品やポンプ及び遠心分離機等であった。また、対中輸入は同+17.3%と 2 カ月連続の増加(前月:同+10.5%)。輸入増に寄与したのはがん具及び遊戯用具や無機化合物等であった。
- ▶4月の関西国際空港(以下、関空)への訪日外客数は 47万 1,895 人 と前月(42万 5,327 人)から増加した(2019 年同月比-38.3%)。一 方、日本人出国者数は 8万 5,653 人と前月(12万 211 人)から減少 した(19年同月比-74.7%)。空港別に訪日外客数の戻りをみてみる と、羽田(同+2.8%)はコロナ禍前を上回り、成田(同-23.5%)はコロナ禍前の 7割強を回復しているが、関空は 6割程度の回復にとど まっている(図 6)。

▶3 月のサービス業の活動は前月から悪化するも持ち直し傾向は維持。

サービス業の生産活動を示す第 3 次産業活動指数(季節調整済み: 2015 年平均=100)をみれば(図 7)、3 月は 100.0 で前月比-1.7%低下し、3 カ月ぶりのマイナスとなった(前月:同+1.7%)。また、対面型サービス業指数*は 89.6 で同-10.2 大幅低下し、3 カ月ぶりのマイナス(前月:同+6.9%)。うち、運輸業は同-13.7%と 3 カ月ぶりに飲食店、飲食サービス業は同-7.8%と 2 カ月ぶりにそれぞれ低下した(前月:飲食店、飲食サービス業:同+5.1%、運輸業:同+5.1%)。結果、1-3 月期の第 3 次産業活動指数は 100.6、前期比+1.2%上昇し 3 四半期ぶりのプラス(10-12 月期:同-0.0%)。また、対面型サービス業は 94.3、同+3.1%上昇。6 四半期連続のプラスとなり、前期(同+1.3%)から伸びは加速した。

- ▶観光関連指数**(2015 年平均=100)は、86.8 と前月比-8.7%大幅低下し、4カ月ぶりのマイナス(前月:同+7.5%)(図7)。うち、宿泊業が同-9.1%と2カ月ぶりに、旅客運送業が同-7.4%と8カ月ぶりにそれぞれ低下に寄与した(前月:宿泊業:同+36.9%、旅客運送業:同+2.7%)。結果、1-3月期は90.1、前期比+6.8%上昇し、4四半期連続のプラスとなった(10-12月期:同+2.8%)。
- *対面型サービス業は、運輸業、宿泊業、飲食店、飲食サービス業、その他の生活関連サービス業及び娯楽業を指す。
- **観光関連指数は第3次産業活動指数のうち、観光庁「旅行・観光サテライト勘定」 の分類に対応する、鉄道旅客運送業、道路旅客運送業、水運旅客運送業、航空旅客運 送業、旅客運送業、その他のレンタル、自動車賃貸業、宿泊業、飲食店,飲食サービ ス業、旅行業、映画館、劇場・興行団の各指数の加重平均。

図 4 関西 対世界貿易の推移

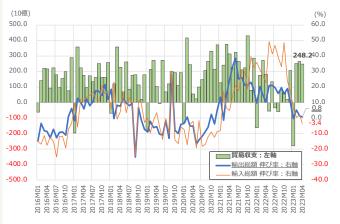
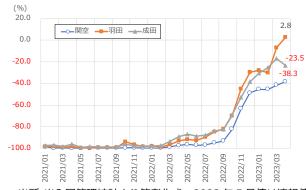


図 5 関西 対中貿易の推移



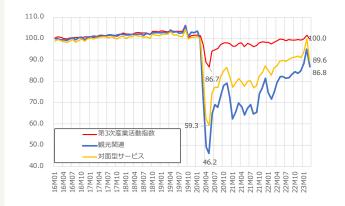
出所:「大阪税関貿易速報資料:近畿圏」より筆者作成

図 6 空港別 訪日外客数の伸び率推移:2019 年同月比



出所:出入国管理統計より筆者作成。2023年5月値は速報値

図 7 観光関連 対面型サービス 第 3 次産業: 2015 年=100



出所:経済産業省「第3次産業活動指数」より筆者作成

トピックス 2

●2月延べ宿泊者数の動向:関西2府8県

- ▶観光庁によれば、2月の関西2府8県の延べ宿泊者数(全体)は 7,782.2 千人泊であった(表1)。2019年同月比では-10.3% と2カ月連続で減少した(前月:同-10.0%)。
- ▶日本人延べ宿泊者数は 6,352.3 千人泊となった。2019 年同月 比+1.7%と5カ月連続の増加だが、増加幅は前月(同+2.2%) から縮小(表 1 及び図 8)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれ ば、大阪府 2,375.0 千人泊、京都府 1,368.7 千人泊、兵庫県 946.9 千人泊、三重県 515.0 千人泊、和歌山県 273.2 千人泊、 滋賀県 240.7 千人泊、福井県 184.8 千人泊、奈良県 164.2 千 人泊、徳島県 148.2 千人泊、鳥取県 135.7 千人泊であった。 2019 年同月比でみると、京都府が 9 カ月連続、大阪府、奈良県 がそれぞれ 5 カ月連続で増加した。一方、兵庫県は 5 カ月ぶり に減少に転じた。
- ▶外国人延べ宿泊者数は 1,429.9 千人泊となった。2019 年同月 比-41.1%と減少幅は前月(同-40.8)から小幅拡大(表 1 及び図 9)。府県別に延べ宿泊者数を降順にみれば、大阪府 911.4 千人 泊、京都府 411.3 千人泊、兵庫県 52.9 千人泊、滋賀県 16.6 千 人泊、和歌山県 15.0 千人泊、奈良県 7.0 千人泊、三重県 6.4 千 人泊、徳島県 4.3 千人泊、福井県 2.6 千人泊、鳥取県 2.5 千人 泊であった。2019 年同月比でみると、大阪府(同-34.3%)は前 月(同-40.0%)から減少幅は縮小したものの、その他府県では前 月から拡大した。
- ▶関西 2 府 8 県延べ宿泊者を居住地別でみると(図 10)、県内の延べ宿泊者数は 1,345.8 千人泊(2019 年同月比+19.0%)、県外は 6,285.8 千人泊(同-11.8)であった。伸びをみれば、県内は 17 カ月連続のプラスだが、増加幅は 2 カ月連続で縮小(12 月:同+42.9%、1 月:同+23.5%)。一方、県外は前月(同-13.6%) から減少幅が幾分縮小した。

図8 府県別日本人延べ宿泊者数 推移

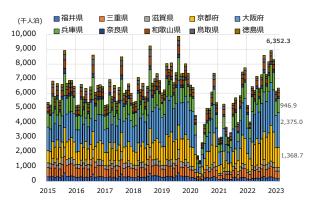


図 9 府県別外国人延べ宿泊者数の推移

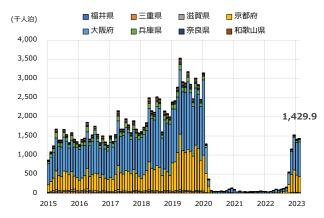


図 10 関西 居住地別延べ宿泊者比率の推移

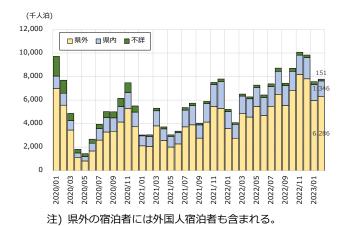


表1 関西 延べ宿泊者数伸び率:2月

2023年2月		総数			日本人		外国人			
	延べ宿泊者数:	19年比伸び率:	19年比伸び率:	延べ宿泊者数:	19年比伸び率:	19年比伸び率:	延べ宿泊者数:	19年比伸び率:	19年比伸び率:	
	(千人泊)	2月(%)	1月(%)	(千人泊)	2月(%)	1月(%)	(千人泊)	2月(%)	1月(%)	
福井県	187.4	-36.4	-31.4	184.8	-35.1	-30.6	2.6	-73.5	-63.7	
三重県	521.4	-8.7	-12.9	515.0	-5.1	-11.2	6.4	-77.5	-58.5	
滋賀県	257.2	-15.5	-9.6	240.7	-9.4	-8.2	16.6	-57.2	-22.4	
京都府	1,780.0	-12.3	-9.1	1,368.7	6.4	9.0	411.3	-44.7	-39.7	
大阪府	3,286.4	-7.7	-9.8	2,375.0	9.3	11.7	911.4	-34.3	-40.0	
兵庫県	999.9	-9.0	-3.9	946.9	-3.0	0.8	52.9	-57.0	-46.1	
奈良県	171.2	19.5	14.9	164.2	47.0	35.3	7.0	-77.8	-67.3	
和歌山県	288.1	-12.8	-10.3	273.2	-6.8	-7.9	15.0	-59.9	-38.5	
鳥取県	138.2	-23.4	-33.0	135.7	-16.4	-28.5	2.5	-86.4	-84.7	
徳島県	152.5	-3.3	-17.1	148.2	-0.5	-15.8	4.3	-51.3	-45.4	
関西2府4県	6,782.8	-9.2	-8.3	5,368.6	5.1	7.1	1,414.2	-40.1	-40.3	
関西2府8県	7,782.2	-10.3	-10.0	6,352.3	1.7	2.2	1,429.9	-41.1	-40.8	
全国	41,139.8	-5.5	-7.5	35,209.9	2.8	-0.1	5,929.9	-36.1	-34.2	

出所:観光庁「宿泊旅行統計調査」より筆者作成(図8~10及び表1)

トピックス3

●2023 年 1-3 月期国内旅行消費の動向: 関西 2 府 8 県*

- ▶観光庁によれば、2023 年 1-3 月期関西(2 府 8 県ベース)の国内旅行消費額(速報)は 8,349 億円であった(表 2)。2019 年同期比+3.0%と前期(同+25.4%)からプラス幅は縮小するも、2 四半期連続でコロナ禍前を上回った。全国旅行支援事業が1月10日から再開されたものの、割引率が縮小された影響が出ている。
- ▶うち、宿泊旅行消費額は、6,740 億円、2019 年同期比+13.5% と 2 四半期連続のプラス(10-12 月期:同+41.3%)(図 11 及び表 2)。消費額のトップ 5 を府県別にみれば、大阪府が 2,155 億円(同+25.6%)と最も多く、次いで京都府が 1,755 億円(同+58.5%)、兵庫県が 1,059 億円(同-14.7%)、和歌山県が 516 億円(同+130.2%)、三重県が 472 億円(同-21.5%)と続く。19 年同期比でみれば、和歌山県が前期(同+216.9%)に引き続き大幅プラスとなった。また、福井県(同+27.6%)、京都府、大阪府は前期よりプラス幅が拡大。一方、三重県、鳥取県(同-45.2%)、徳島県(同-85.7%)は前期のプラスからマイナスへ転じている。
- ▶うち、日帰り旅行消費額は 1,609 億円、2019 年同期比-25.8% と 10-12 月期(同-21.2%)からマイナス幅は拡大した(図 12 及び表 2)。消費額のトップ 5 を府県別にみれば、兵庫県が 416 億円(同-17.2%)と最も多く、次いで三重県が 316 億円(同+26.3%)、大阪府が 264 億円(同-51.6%)、京都府が 240 億円(同-51.6%)、滋賀県が 138 億円(同-8.3%)と続く。19 年同期比でみれば、三重県、奈良県(同+25.6%)、和歌山県(同+52.3%)、徳島県(同+12.1%)はそれぞれプラスとなったが、その他府県ではマイナスとなった。

図11 関西2府8県 宿泊旅行消費額の推移

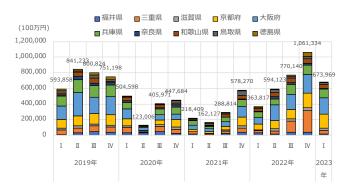
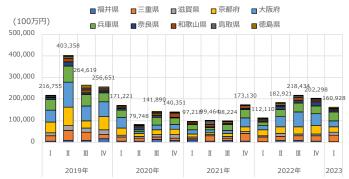


図12 関西2府8県日帰り旅行消費額の推移



(注) 宿泊旅行、日帰り旅行ともに、観光・レクリエーション目的以外 に帰省・知人訪問等、出張・業務目的を含む。

2022 年までのデータは確報。23 年 1-3 月期は速報 (上図も同様)。

出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

表 2 関西 国内旅行消費額: 2023年1-3月

		国内旅行消費額			宿泊旅行消費額	į	日帰り旅行消費額			
2023Q1	金額: 100万円	19年比伸び率: 1-3月期(%)	19年比伸び率: 22年10-12月期 (%)	金額: 100万円	19年比伸び率: 1-3月期(%)	19年比伸び率: 22年10-12月期 (%)	金額: 100万円	19年比伸び率: 1-3月期(%)	19年比伸び率: 22年10-12月期 (%)	
福井県	15,951	7.3	-12.4	13,669	27.6	10.7	2,282	-45.0	-61.7	
三重県	78,792	-7.4	249.8	47,179	-21.5	306.4	31,613	26.3	35.5	
滋賀県	43,137	22.7	2.1	29,356	45.8	68.3	13,781	-8.3	-62.7	
京都府	199,439	24.5	13.2	175,486	58.5	34.8	23,953	-51.6	-37.0	
大阪府	241,914	7.0	-3.2	215,470	25.6	2.0	26,444	-51.6	-20.6	
兵庫県	147,569	-15.5	-15.4	105,924	-14.7	-17.2	41,645	-17.2	-9.3	
奈良県	22,928	1.8	-2.8	14,359	-8.6	-29.8	8,569	25.6	79.5	
和歌山県	58,470	117.1	191.2	51,588	130.2	216.9	6,883	52.3	94.7	
鳥取県	19,544	-44.2	12.9	17,041	-45.2	31.1	2,503	-35.5	-48.8	
徳島県	7,153	-76.3	21.2	3,898	-85.7	38.4	3,256	12.1	-67.2	
関西2府8県	834,897	3.0	25.4	673,969	13.5	41.3	160,928	-25.8	-21.2	

出所:観光庁『旅行・観光消費動向調査』より作成。

^{*}トピックス3は四半期ごとの掲載である。

表 3 2023 年 4 月 訪日外客数 (JNTO 推計値) (対 2019 年比)

	;	総数 Total		総数 Total				
国・地域	2019年 2023年		伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)		
	4月	4月		1-4月	1-4月			
総数	2,926,685	1,949,100	-33.4	10,980,482	6,739,500	-38.6		
総数(中国除く)	2,200,553	1,840,800	-16.3	8,085,033	6,487,900	-19.8		
韓国	566,624	467,000	-17.6	2,647,397	2,067,700	-21.9		
中国	726,132	108,300	-85.1	2,895,449	251,600	-91.3		
台湾	403,467	291,600	-27.7	1,593,227	1,078,300	-32.3		
香港	194,806	152,800	-21.6	699,852	569,000	-18.7		
タイ	164,817	121,000	-26.6	512,754	365,700	-28.7		
シンガポール	36,704	42,000	14.4	129,169	148,400	14.9		
マレーシア	46,092	40,200	-12.8	164,766	138,200	-16.1		
インドネシア	39,768	48,700	22.5	136,476	131,300	-3.8		
フィリピン	69,266	62,800	-9.3	188,700	173,000	-8.3		
ベトナム	55,295	55,200	-0.2	177,928	216,200	21.5		
インド	18,376	16,300	-11.3	57,667	47,300	-18.0		
豪州	70,504	56,100	-20.4	243,400	191,500	-21.3		
米国	170,247	183,900	8.0	542,671	562,000	3.6		
カナダ	38,897	36,800	-5.4	123,032	110,900	-9.9		
メキシコ	8,222	9,300	13.1	20,466	19,700	-3.7		
英国	44,537	36,500	-18.0	128,255	102,000	-20.5		
フランス	46,005	34,400	-25.2	108,130	77,600	-28.2		
ドイツ	27,829	27,400	-1.5	81,230	70,000	-13.8		
イタリア	24,062	15,600	-35.2	50,948	37,200	-27.0		
スペイン	13,858	8,300	-40.1	31,689	22,300	-29.6		
ロシア	13,787	4,400	-68.1	37,405	10,800	-71.1		
北欧地域	17,277	11,600	-32.9	48,323	33,100	-31.5		
中東地域	13,352	13,800	3.4	32,644	34,000	4.2		
その他	116,761	105,100	-10.0	328,904	281,700	-14.4		

表 4 2023 年 2 月 目的別訪日外客数 (JNTO 暫定値) (対 2019 年比)

	総数 Total			観	光客 Tourisn	ı	商用客 Business			その他客 Others		
国・地域	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)	2019年	2023年	伸率(%)
	2月	2月		2月	2月		2月	2月		2月	2月	
総数	2,604,322	1,475,455	-43.3	2,341,479	1,297,458	-44.6	130,544	67,629	-48.2	132,299	110,368	-16.6
韓国	715,804	568,622	-20.6	675,023	548,770	-18.7	26,801	12,480	-53.4	13,980	7,372	-47.3
中国	723,617	36,285	-95.0	647,740	11,988	-98.1	25,092	8,628	-65.6	50,785	15,669	-69.1
台湾	399,829	248,493	-37.9	383,849	240,815	-37.3	8,421	4,486	-46.7	7,559	3,192	-57.8
香港	179,324	119,405	-33.4	175,381	117,024	-33.3	2,771	1,524	-45.0	1,172	857	-26.9
タイ	107,845	73,292	-32.0	103,045	69,896	-32.2	2,865	1,673	-41.6	1,935	1,723	-11.0
シンガポール	26,102	27,078	3.7	23,008	25,018	8.7	2,564	1,833	-28.5	530	227	-57.2
マレーシア	36,660	31,992	-12.7	33,488	30,031	-10.3	1,917	1,254	-34.6	1,255	707	-43.7
インドネシア	24,622	26,802	8.9	20,064	19,715	-1.7	1,875	1,099	-41.4	2,683	5,988	123.2
フィリピン	35,170	33,934	-3.5	29,567	27,251	-7.8	2,063	2,455	19.0	3,540	4,228	19.4
ベトナム	39,377	55,847	41.8	9,839	5,153	-47.6	2,489	1,998	-19.7	27,049	48,696	80.0
インド	9,071	7,051	-22.3	2,321	2,252	-3.0	4,425	2,476	-44.0	2,325	2,323	-0.1
豪州	47,658	37,680	-20.9	44,353	35,573	-19.8	2,495	1,617	-35.2	810	490	-39.5
米国	92,669	86,946	-6.2	72,454	75,610	4.4	16,533	8,854	-46.4	3,682	2,482	-32.6
カナダ	23,883	19,010	-20.4	21,539	17,802	-17.3	1,673	813	-51.4	671	395	-41.1
メキシコ	2,889	2,339	-19.0	2,394	1,955	-18.3	363	236	-35.0	132	148	12.1
英国	23,554	15,579	-33.9	18,220	12,462	-31.6	4,294	2,358	-45.1	1,040	759	-27.0
フランス	17,397	12,251	-29.6	12,982	9,697	-25.3	3,320	1,766	-46.8	1,095	788	-28.0
ドイツ	13,384	9,302	-30.5	7,946	6,533	-17.8	4,676	2,234	-52.2	762	535	-29.8
イタリア	5,897	4,627	-21.5	3,813	3,271	-14.2	1,780	1,077	-39.5	304	279	-8.2
ロシア	5,601	1,378	-75.4	3,777	778	-79.4	1,333	337	-74.7	491	263	-46.4
スペイン	4,533	3,322	-26.7	3,541	2,641	-25.4	697	454	-34.9	295	227	-23.1
中東地域	3,630	3,883	7.0	2,493	3,075	23.3	809	576	-28.8	328	232	-29.3
その他	65,806	50,337	-99.2	44,642	30,148	-99.3	11,288	7,401	-99.3	9,876	12,788	-98.7

注)目的別訪日外客数の定義については、図3注参照。

出所:日本政府観光局(JNTO)、2023年5月17日付より筆者加工